

様式第2号（政務活動実施報告書）

30年 8月 6日

井原市議会議長

西田 久志 様

井原市議会議員 坊野 公治

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	平成30年7月25日（水）
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	東京都豊島区東池袋 アットビジネスセンター池袋駅前別館 901号室
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	適正な議員定数・議員報酬の算出手法を考える
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	(株)地方議会総合研究所代表取締役 明治大学政治経済学部講師 廣瀬 和彦
5. 活動内容	別紙のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。

2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。

適正な議員定数・議員報酬の算出手法を考える

1.議員定数

- ①常任委員会数方式
- ②人口比例方式
- ③住民自治協議会方式（または小学校区方式）
- ④議会費固定化方式
- ⑤類似都市との比較方式（人口規模・財政状況）
- ⑥面積・人口方式

①常任委員会数方式

討議・委員会で住民の意見が反映できる1常任委員会の委員数

×

常任委員会制度の趣旨を満たす常任委員会数

=

議員総数

②人口比例方式

当該地方公共団体の人口数

÷

議員一人当たりの住民代表数

=

議員総数

③住民自治協議会方式（小学校区方式）

当該地方公共団体における住民自治協議会数（小学校区）

×

最低一人の議員を選出（1票の格差に注意）

=

議員総数

④議会費固定方式

議会費（予算総額に占める適当な割合 約1%）

—

議員定数×議員報酬以外の経費

=

議員定数×議員報酬

⑤類似都市との比較方式（人口規模・財政状況）

⑥面積人口方式

- ・議員定数は、人口、人口²、面積で81.8%が決まる
- ・議員定数は、人口が多くなれば多くなる
- ・しかし、大きくなる程度はだんだん小さくなる
- ・議員定数は、市域面積が大きくなるほど多くなる

（所感）

上記方法において議員定数を検討する方法があるが、私は井原市においては常任委員会数を当てはめていくべきであると考えます。現在、井原市においては3常任委員会を設置している。これを2常任委員会にすると、1人の議員が井原

市のすべての事業・施策の半分を所管することになり難しいと考える。また、1
常任委員会の人数は、現在の建設水道委員会の6名が最小数と考える。よって、
井原市の議員定数は現状維持、もしくは減らしても18名が適当と考える。

議員定数を考えるとき、よく近隣類似都市と比較されるが、これは財政状況
をはじめ、一概に比較する事はできないので参考にするべきではないと考える。

2.議員報酬

①意義

議員報酬は、一般の報酬の概念のほかに、その地位に対し、職務と責任に応じて与えられる給付的性格を有する、いわゆる給与的な性質をも併せ有する広い概念で用いられている面もある

②議員報酬決定要因

- ・各団体の議会活動状況
- ・財政事情
- ・類似団体との比較均衡
- ・世論の動向

③議員報酬算定の基準方式

- ・市政への貢献度を把握し、それをもとに議員報酬を定める考え方
$$\text{議員報酬} \times \text{市政への貢献度} = \text{議員報酬}$$
- ・執行部職員の給与を基準とする考え方
選挙で選ばれた住民代表であることから、一般職最高級である局長または部長の給与を参考に議員報酬を考える方式
- ・国会議員の歳費を基準とする考え方
$$\text{国会議員の歳費} \div \text{一般職の公務員の最高の給与額} \times \text{地方公務員の最高の給与額} = \text{地方議会議員の報酬額}$$
$$\text{国会議員の歳費} \times 0.421 \text{ (市議会議員の職務執行日数/国会議員の職務執行日数)} = \text{地方議員の報酬額}$$

- ・ 日当制を根拠に算出する方法

矢祭町の日当 3 万円の根拠は、「課長職の平均日給 4 万 4772 円（期末手当含む）の 7 割

- ・ 当該団体の長の給与額を基準とする考え方

$$\begin{array}{ccc} & \text{議員の活動日数} & \\ \text{市長の給与} \times & \frac{\text{-----}}{\text{市長の活動日数}} & = \text{議員報酬} \end{array}$$

- ・ 比較方式

議員報酬年額 = 現在の議員報酬額 × 平均指数

- ・ 議会費の割合を一定とし算出する方法

議会費 - 議員定数 × 議員報酬以外の経費 = 議員定数 × 議員報酬

(所感)

議員報酬に関しては、執行部の給与を参考にする方法が理想と考える。現在井原市議会議員の報酬は係長級であるとお聞きする。毎日定時に登庁することのない議員の報酬は高いといわれることがあるが、現在の議員の職務を考えると増額するべきと考える。理想は市の部長級の給与水準であると考えているが、現実的には 5 万円アップの月額 40 万円にはするべきである。